指導案⑫

**地震防災　学習指導案**

年　月　日（　）第　校時

学年　　小学校全学年

児童数　　　　　　　名

場所　教室

指導者　　　　全教職員

**１　題材名**　「体験談と話し合い・作文」

**２　題材について**

　（１）児童の実態

（小学校の立地、児童の人数、特徴などを書く。）

　（２）題材設定の理由

　　　地震防災の学習は以下の内容を基本とする。

* ハザードの理解（なぜ地震が発生するのか）
* 地震への備え（ハードとソフト）
* 地震発生時の対応（直後の身を守る方法から避難、救出・救助、支援、避難所生活など）

これらの分野に関する学ぶ知識や技能は、こどもたちの学びたいという気持ち、興味・関心があるからこそ身につくものである。こどもたちに災害の怖さ、命の大切さ、助け合いや思いやりの素晴らしさ、備え、救出・救助、医療、ボランティア、支援、友だちのことなど、災害時の様々なシーンについての文章を読ませ、こころを揺さぶる学習が、こどもたちの災害と防災を学びたいという気持ちを育てていく。

**３　評価規準**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 観点 | 集団活動や生活への関心・意欲・態度 | 集団の一員としての思考・判断・実践 | 集団活動や生活についての知識・理解 |
| 評価規準 | 　自己の生活の充実と向上に関わる問題に関心を持ち、自主的に日常の生活や学習に取り組もうとしている。 | 　楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、日常の生活や学習の課題について話し合い、自分に合ったよりよい解決方法などについて考え、判断し、実践している。 | 　楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの大切さ、そのための健全な生活や自主的な学習の仕方などについて理解している。 |

**４　事前の指導**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指す児童の姿と評価方法 |
|  |  |  |

**５　本時のねらい**

　災害に関する文章を読ませ、「自分ならどうしただろう」という自問を通して、災害時に仮に身を置きながら、災害と防災への関心を高め、自らの生き方を考えさせる。

**６　本時の展開**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指すこどもの姿と評価方法 |
| 導入 | 教師の説明、指示を聞き、準備する。 | 　こどもたちの発達年齢、読解力に応じて教材（災害に関する文章）を選ぶ。　文章の内容は、教訓や知恵を伝えるものだけではなく、感情（喜怒哀楽）を揺さぶるものや、読み手が「戸惑い」を覚えるような内容のものを選ぶとよい。 | 教師の説明・指示を聞けているか。 |
| 展開 | こどもたちの発達年齢に応じて次のような活動を行う。組み合わせても良い。低学年・中学年・高学年・感想を発表する。・グループで感想を言い合う。中学年・高学年・文章を読んで感じたことを作文に書く。・感想を発表する。・グループで感想を言い合う。 | こどもたちの発達年齢に応じて次のような活動をさせる。組み合わせても良い。低学年・中学年・高学年・感想を発表する。・グループで感想を言い合う。中学年・高学年・文章を読んで感じたことを作文に書く。・感想を発表する。・グループで感想を言い合う。 | 　話し合いで、自分の意見を表明で来ているか。他者の意見を真剣に聞けているか。　作文に集中できているか。 |
| まとめ | 教師のまとめを聞く。 | こどもたちの感想にコメントを述べる。良しあしを述べるのではなく、教師の率直な感想を言う。 | 　コメントを集中して聞けているか。 |

**７　事後の指導**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 児童の活動 | 指導上の留意点 | 目指す児童の姿と評価方法 |
|  | 作文は必ず読み、教師の感想を書き込んで返却する。 |  |

以上